

沖縄県食品ロス削減推進計画の 推進状況報告書（令和4年度）



～食品ロス 減らして 増やそう ゆいまーる～



令和6年1月

沖縄県食品ロス削減推進県民会議

目 次

1	はじめに	1
2	沖縄県の食品ロスの指標及び削減目標	1
3	数値目標進捗状況	2
4	数値目標進捗状況一覧表	3
5	施策一覧	5
6	各施策の取組内容	6

1. はじめに

食品ロスの問題は2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において言及されるなど、国際的にも重要な課題となっています。

沖縄県においても、消費者、事業者、関係団体、行政等の多様な主体が連携・協働し、食品ロス削減の取組みを総合的かつ効果的に推進するため、国の「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」を踏まえ、「沖縄県食品ロス削減推進計画」を令和4年3月に策定しました。

本計画は、計画期間を令和4年度から令和13年度までとし、「食品ロス削減の基本的な施策」と「沖縄県の特性を踏まえた施策」の2つの施策展開を掲げ、9つの施策の方向性のもとに、29の施策に取り組み、可能な限り数値目標を設定しています。

また、沖縄県食品ロス削減推進計画の推進状況報告書を作成することで毎年度進捗管理を行い、必要に応じて施策の見直しを行います。

2. 沖縄県の食品ロスの指標及び削減目標

(1) 沖縄県の食品ロス量

計画開始年度（令和4年度、2022年度）の食品ロス量61,450トン、計画最終年度（令和13年度、2031年度）までに、51,004トンまで削減することを目指します。

指 標	計画開始年度	計画最終年度	削 減 量
	令和4年度(2022年度)	令和13年度(2031年度)	
家庭系 食品ロス量	35,667トン	29,604トン	(17%削減) 6,063トン
事業系 食品ロス量	25,783トン	21,400トン	(17%削減) 4,383トン
食品ロス量合計	61,450トン	51,004トン	10,446トン
県民1人当たり の食品ロス量	115g / 人・日	95g / 人・日	(17%削減) 20g

※削減目標については、国が2000年度から2030年度までの30年間で食品ロス量を50%削減させるという目標を設定しており、本計画の期間（10年間）が国の期間の3分の1であることを踏まえ、17%削減（ $50\% \div 3 \approx 17\%$ ）という目標を設定している。

(2) 食品ロス問題を認知し削減に取り組む消費者の割合

指 標	令和4年度	令和13年度
	(2022年度)	(2031年度)
食品ロス問題を認知している県民の割合	97.0%	100.0%
食品ロス問題を認知し削減に取り組む県民の割合	80.2%	97.0%

3. 数値目標進捗状況

沖縄県食品ロス削減推進計画で定める 29 の施策のうち、20 の施策については、数値目標を設定しています。

20の施策に対して設定した20項目の数値目標については、以下で算出する達成割合により進捗状況を5つの区分で判定します。

〔達成割合（％）＝対象年度の実績値÷目標値×100〕

【進捗状況区分】

順調 (A)	目標値 (R13年度) に対して90%以上
概ね順調 (B)	目標値 (R13年度) に対して75%以上～90%未満
やや遅れ (C)	目標値 (R13年度) に対して60%以上～75%未満
大幅遅れ (D)	目標値 (R13年度) に対して60%未満
未着手 (E)	取組に未着手

【表1】 令和4年度 数値目標の進捗状況総括表

	数値目標進捗状況					
	合計	順調 (A)	概ね順調 (B)	やや遅れ (C)	大幅遅れ (D)	未着手 (E)
		90%以上	75%以上～ 90%未満	60%以上～ 75%未満	60%未満	0%
項目数※1	18 (15)※2	10 (7)	2	0	4	2
割合 (%)	100.0%	55.6%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%

※1:数値目標設定項目「3010運動を推奨しているホテル数(再掲)」に関しては、現在調査中のため、【表1】の項目数には含んでいない。

※2:()内は再掲を除いた項目数

【進捗状況から見た課題等】

「順調」は10項目あり、「シンポジウムやイベント等の開催件数」や「食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数」の項目において目標値を上回って取り組まれています。

一方で、「大幅遅れ」、「未着手」は6項目あり、その要因として、計画初年度であるため、認知度の上昇率が低い、表彰制度創設について検討中であることによる表彰式の未実施などが挙げられます。

【今後の対応】

県民会議との連携を図りながら更なる周知・啓発に取り組めます。また、パートナー登録制度の取組を進め、県内の各企業・団体における食品ロス削減の取組を促進するとともに、令和7年度に創設を予定している表彰制度の検討を進めていきます。

4. 数値目標進捗状況一覧表

第3節 食品ロス削減の基本的な施策

(1) 教育及び学習の振興、普及啓発

数値目標設定項目名	単位	現況値		R4			中間年	目標値	課名
		R3	実績値	達成割合	進捗状況	R8	R13		
シンポジウム・イベント等の開催件数	回/年	0	3	150.0%	A	1	2	消費・くらし安全課	
食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図る授業や副読本（くわっちーさびら）の活用及び給食指導を行うことができたか（アンケート調査）	%	0 (86)	84	84.0%	B	90	100	保健体育課 健康長寿課 消費・くらし安全課	
家庭系食品ロス実態調査における賞味期限の正しい認知度	%	93	93	92.5%	A	95	100	消費・くらし安全課	
家庭系食品ロス実態調査における消費期限の正しい認知度	%	9	10	20.0%	D	20	50	消費・くらし安全課	
食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	%	—	78	97.5%	A	80	80%以上	健康長寿課	
商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議（仮称）」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	100.0%	A	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課	
食品ロス削減月間におけるイベントの実施件数	回/年	2	2	50.0%	D	3	4	消費・くらし安全課	
食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1 (3)	6	120.0%	A	5	5	広報課	
3010運動を推奨しているホテル数	件	0 (3)	未確定 (調査中)	—	—	50	100	観光振興課 MICE推進課	
沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式での普及啓発回数	回/年	0	0	0.0%	E	1	1	関係各課	

※（ ）内の数値は、実績値

(2) 食品関連事業者系食品ロス対策

6次産業化セミナーの開催件数	回	3	7	21.2%	D	18	33	流通・加工推進課
賞味期限の年月表示化の可能性について関係機関等との会議の開催件数	回/年	0	3	100.0%	A	3	3	衛生薬務課 ものづくり振興課
商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議（仮称）」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	100.0%	A	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課

(3) 表彰制度の創設

沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式の実施回数	回/年	0	0	0.0%	E	1	1	消費・くらし安全課
--------------------------	-----	---	---	------	---	---	---	-----------

(5) 情報の収集及び提供

食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1 (3)	6	120.0%	A	5	5	広報課
エシカル消費の認知度（エシカル消費認知度調査における「言葉の内容を含めて知っている」県民の割合）	%	3.3 (R2年度調査)	6	24.4%	D	13	25	消費・くらし安全課

(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等

数値目標設定項目名	単位	現況値		R4			中間年	目標値	課名
		R3	実績値	達成割合	進捗状況	R8	R13		
沖縄子どもの未来県民会議が実施する食支援事業に協力する協賛企業等の数	件	50 (58)	56	80.0%	B	60	70	子ども未来政策課 消費・くらし安全課	
消費期限が残り2年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	—	100	100.0%	A	100	100	消費・くらし安全課	

第4節 沖縄県の特徴を踏まえた施策展開

1 未利用食品の有効活用の推進

消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	—	100	100.0%	A	100	100	消費・くらし安全課
------------------------------------	---	---	-----	--------	---	-----	-----	-----------

3 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組

3010運動を推奨しているホテル数	件	0 (3)	未確定 (調査中)	—	—	50	100	観光振興課 MICE推進課
-------------------	---	----------	--------------	---	---	----	-----	------------------

5. 施策一覧

施策展開		数値目標設定項目	単位	現況値 R3	中間年 R8	目標値 R13	担当課
施策の方向性							
施策名							
1. 食品ロス削減の基本的な施策							
(1) 教育及び学習の振興、普及啓発							
①	家庭における食品ロス削減の普及啓発の推進	シンポジウム・イベント等の開催件数	回/年	0	1	2	消費・くらし安全課
②	食品ロス削減に関する講座の実施	食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図る授業や副読本(くわっちーさびら)の活用及び給食指導を行うことができたか(アンケート調査)	%	0	90	100	保健体育課 健康長寿課 消費・くらし安全課
③	賞味期限や消費期限表示の正しい理解の促進	家庭系食品ロス実態調査における賞味期限の正しい認知度	%	93	95	100	消費・くらし安全課
		家庭系食品ロス実態調査における消費期限の正しい認知度	%	9	20	50	消費・くらし安全課
④	宴会やビーチパーティ等季節ごとの情報発信	数値目標なし	-	-	-	-	消費・くらし安全課
⑤	外食時食べきりの促進と安全な持ち帰り等の啓発	数値目標なし	-	-	-	-	環境整備課 衛生薬務課
⑥	食品廃棄物の削減の推進	数値目標なし	-	-	-	-	環境整備課 消費・くらし安全課
⑦	沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進	食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	%	(R4調査 予定)	80	80% 以上	健康長寿課
⑧	商慣習見直し機運の醸成(食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等)	商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議(仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課
⑨	もったいない意識の醸成を図るための県独自のロゴマーク等の活用	数値目標無し (ロゴマーク及びキャッチフレーズは令和3年度に制度予定)	-	-	-	-	消費・くらし安全課
⑩	食品ロス削減月間(10月)等の取組	食品ロス削減月間におけるイベントの実施件数	回/年	2	3	4	消費・くらし安全課
⑪	県広報媒体等を活用した広報活動	食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1	5	5	広報課
⑫	観光客等への普及啓発	3010運動を推奨しているホテル数	件	0	50	100	観光振興課 MICE推進課
⑬	関係団体への普及啓発	沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式での普及啓発回数	回/年	0	1	1	関係各課
(2) 食品関連事業者系食品ロス対策							
①	規格外や未利用の農水産物の活用の促進	6次産業化セミナーの開催件数	回	3	18	33	流通・加工推進課
②	賞味期限の大括り化の促進	賞味期限の年月表示化の可能性について関係機関等との会議の開催件数	回/年	0	3	3	衛生薬務課 ものづくり振興課
③	商慣習見直し取組の促進(食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等)	商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議(仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課
④	外食産業における食べ残し対策等の促進	数値目標なし	-	-	-	-	環境整備課 消費・くらし安全課
(3) 表彰制度の創設							
①	食品ロス削減に貢献した事業者への表彰制度の創設	沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式の実施回数	回/年	0	1	1	消費・くらし安全課
(4) 実態調査及び調査・研究の推進							
①	家庭系食品ロス発生量の調査	数値目標なし (事業系食品ロス発生量については適時調査をおこなうこととしており、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	環境整備課
②	事業系食品ロス発生量の調査	数値目標なし (事業系食品ロス発生量については適時調査をおこなうこととしており、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	消費・くらし安全課
(5) 情報の収集及び提供							
①	先進的な食品ロス削減の取組等の広報活動	食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1	5	5	広報課
②	エシカル消費啓発と連動した取組	エシカル消費の認知度 (エシカル消費認知度調査における「言葉の内容を含めて知っている」県民の割合)	%	3.3 (R2年度 調査)	12.6	25	消費・くらし安全課
(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等							
①	未利用加工食品等を活用するためにフードバンク活動の取組を支援	沖縄子どもの未来県民会議が実施する食支援事業に協力する協賛企業等の数	件	50	60	70	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
②	生活困窮家庭等への未利用食品の活用の推進	数値目標なし (現在、沖縄子どもの未来県民会議のホームページやSNSを活用し、継続的に食支援活動に関する情報発信を行っていることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
③	災害備蓄食料の有効活用	消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	-	100	100	消費・くらし安全課
2. 沖縄県の特性を踏まえた施策展開							
1 未利用食品の有効活用の推進							
(1)	生活困窮家庭等への未利用食品等の食料支援の仕組みを構築	数値目標なし (現在、食支援体制の土台は構築できており、今後持続可能な仕組みとして確立していく方向であることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
(2)	県の防災備蓄物資(食料)の有効活用の推進	消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	-	100	100	消費・くらし安全課
2 台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進							
	台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進	数値目標なし (現在、食支援体制の土台は構築できており、今後、持続可能な仕組みとして確立していく方向であることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
3 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組							
	観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組	3010運動を推奨しているホテル数	件	0	50	100	観光振興課 MICE推進課

6. 各施策項目の取組内容

1. 食品ロス削減の基本的な施策

(1) 教育及び学習の振興、普及啓発

① 家庭における食品ロス削減の普及啓発の推進

食品ロス等の削減をテーマにしたシンポジウムや小売店等と連携したイベント開催等により、暮らしの中で食品ロスを認識し、削減に向けた行動を考え、実践を促す機会とします。

【実施状況】

(消費・くらし安全課)

- 「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施し、職員へ未利用食品等の寄贈を呼びかけ、集められた食品 490 個 (122.3kg)、日用品 528 個をおきなわこども未来ランチサポートを通し子ども食堂へ提供した。(令和4年10月3日～10月14日)
- 沖縄県立図書館でポスターの展示を行った。(令和4年9月27日～10月3日)
- 離島の小中学校において災害用備蓄食料の配布を行うとともに、食品ロスや防災に関する講座を実施した。(多良間村小・中学校 生徒数(小:69人、中:30人))

【施策実施による成果等】

フードドライブやポスター展示を行うことにより、県民へ普及啓発を図った。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
シンポジウム・イベント等の開催件数	回/年	0	3				150.0%	1	2

【令和5年度活動計画】

- 食品ロス削減月間に「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施
- 食品ロス削減月間に県立図書館でパネル展示を行う。
- 卓上ポップを作成し、学食・社食等において啓発を行う。
- ホテル等において利用者を対象にフードドライブを実施する。
- 県内の大規模イベント等において、ポスターやチラシを活用し啓発を行う。

② 食品ロス削減に関する講座の実施

学校での教科や出前講座、給食指導等を通じた児童生徒や学生に対する食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図ります。

【実施状況】

（保健体育課）

【研修の開催】

- 地区別学校給食指導者養成研
- 栄養教諭、学校栄養職員等研
- 栄養教諭、学校栄養職員初任者研

【その他の取組】

- 健康長寿課及び県医師会との連携（うまんちゅ広場にて副読本の活用例を紹介予定）
- 文科省主催等の研修への参加

（健康長寿課）

【次世代の健康づくり副読本「くわっちーさびら」の活用】

- 食育に関する副読本「くわっちーさびら」のデジタルブックを広報し、各家庭や地域での閲覧・活用による食育の推進を通じて食品ロス削減についても意識啓発を行った。

【食育推進計画の策定】

- 令和5年3月に第4次沖縄県食育推進計画（計画期間：令和5年度～8年度）を策定した。同計画で定めた施策には食品ロス削減に係る取組が含まれており、食育推進と食品ロス削減の双方が連動して取組を展開することとしている。

【その他取組】

- 食育月間（6月）に合わせ、食育に関する普及啓発を行った。
県立図書館でのパネル展（6/1-6/27）、沖縄タイムス・琉球新報への新聞広告（6/1）

（消費・暮らし安全課）

離島の小中学校において災害用備蓄食料の配布を行うとともに、食品ロスや防災に関する講座を実施した。（多良間村小・中学校 生徒数（小：69人、中：30人））

【施策実施による成果等】

（保健体育課）

健康長寿課及び県医師会と連携することで、副読本の周知に努めた。

（健康長寿課）

食育の推進を通じ、食品ロス問題の認知向上や生活の各場面における食品ロス削減の実践に寄与した。

（消費・暮らし安全課）

食品ロス問題への意識の向上を図るとともに、賞味期限が迫った災害用備蓄食料を有効活用することができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図る授業や副読本の活用及び給食指導を行うことができたか。	%	0 (86)	84				84.0%	90	100

【令和5年度活動計画】

（保健体育課）

令和4年度同様の研修会を開催する。

（健康長寿課）

- 副読本「くわっちーさびら」の普及広報
- 第4次沖縄県食育推進計画に掲げた各種施策の推進（市町村における食育計画の策定支援など）
- 食育月間等における食育の普及啓発

（消費・暮らし安全課）

消費生活センターと連携した出前講座の実施

③ 賞味期限や消費期限表示の正しい理解の促進

「賞味期限（おいしく食べられる期限）」と「消費期限（食べても安全な期限）」の違いについて、消費者に対し重点的に啓発することで、食品ロス削減に資する期限表示の正しい理解を促進します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

県の災害用備蓄食料を配布する際に、「賞味期限・消費期限」について説明するリーフレットを作成し配布した。

【施策実施による成果等】

リーフレットを活用し、県民へ賞味期限・消費期限の正しい意味について周知することができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
家庭系食品ロス実態調査における賞味期限の正しい認知度	%	93	92.5				92.5%	95	100
家庭系食品ロス実態調査における消費期限の正しい認知度	%	9	10				20.0%	20	50

【令和5年度活動計画】

県立図書館におけるパネル展示で、賞味期限と消費期限に関するリーフレットの配布を行う。

④ 宴会やビーチパーティ等季節ごとの情報発信

季節ごとの消費の機会を捉えた情報発信等を促進します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

令和4年度は実施なし。

【令和5年度活動計画】

啓発資料を作成し、忘年会や新年会等の宴会が多い年末年始に合わせ、県内の飲食店や沖縄県食品ロス削減県民運動パートナーに啓発協力を呼びかける。

⑤ 外食時食べきりの促進と安全な持ち帰り等の啓発

ア 3010 運動の推進

飲食店等事業者及び消費者に対する「3010 運動」*の普及啓発により、外食時の食べ残しの削減を促進します。

〔※宴会等の最初の 30 分間と終了前の 10 分間に食事をしっかり楽しむことで食べ残しを減らす取組。〕

【実施状況】

(環境整備課)

エコライフ&ネイチャーフェア（環境フェア）（11 月 12 日）においてチラシ配布等を行った。

(消費・くらし安全課)

令和 4 年度は実施なし。

【施策実施による成果等】

(環境整備課)

参加者へチラシ配布を行ったことで、周知・啓発が図られた。

【令和 5 年度活動計画】

(環境整備課)

環境フェア（11 月頃予定）においてチラシ配布等を行う。

(消費・くらし安全課)

パートナー登録制度の周知を行い、取組を促進する。

イ 衛生的なドギーバッグ活用法の普及啓発

生ものは持ち帰らない、持ち帰った料理は短時間で喫食する、長時間常温にせず 火を通すなど安全に食べる工夫をすることといった消費者の衛生知識の向上を図り、消費者と店舗との信頼関係の下、衛生的なドギーバッグ活用の慣習が広がるよう普及啓発に取り組みます。

【実施状況】

(衛生業務課)

毎年各保健所を通して食品関連事業者に対して、食中毒予防のための講習会を定期的開催している。食品と直接接する容器包装に関しては規格基準があり、その部分についても食品関連事業者へ指導を行っている。ドギーバックについても、問い合わせ等があれば規格基準にあった容器を使用し、衛生的に活用することを助言する。

【施策実施による成果等】

食品に関連する容器包装について事業者へ指導することで、衛生的なドギーバックの活用がなされ、その後の習慣化に繋がるものとする。

【令和 5 年度活動計画】

食品ロス削減に係るパンフレットを作成し、各保健所に情報提供する。

⑥ 食品廃棄物の削減の推進

食べ残し削減などを含めた日常生活における身近な3R行動（冷蔵・冷凍庫内の整理、食材の適切な保存方法など）の実践を促します。

【実施状況】

（環境整備課）

環境月間（6月）及び3R推進月間（10月）中に県民ホール及び県立図書館において、食品廃棄を減らすことに役立つ買い物のコツについてのパネル掲示やチラシ配布を実施した。

また、エコライフ&ネイチャーフェア（環境フェア）（11月12日）においてもチラシ配布を行うことで、周知啓発を継続して実施した。

（消費・くらし安全課）

○県広報誌（8月号）で那覇国際高校家庭クラブが考案した「重箱リメイクレシピ」を紹介した。

○食品ロスや備蓄食料の啓発用リーフレット（大人用、子ども用2種類）を作成し、フードバンクセカンドハーベスト沖縄やおきなわこども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供する際に配布した。

【施策実施による成果等】

（環境整備課）

パネル展示やチラシ配布により、周知・啓発が図られた。

（消費・くらし安全課）

リーフレットや広報誌により日常生活で実施できる食品ロス削減につながる行動について、県民へ周知をすることができた。

【令和5年度活動計画】

（環境整備課）

環境月間（6月）及び3R推進月間（10月）中に県民ホール及び県立図書館において、食品廃棄を減らすことに役立つ買い物のコツについてのパネル掲示やチラシ配布を行う。

（消費・くらし安全課）

県立図書館でパネル展示を実施し、チラシ等の配布も行う。

⑦ 沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進

健康寿命の延伸に繋がる食育を推進し、栄養バランスに配慮した望ましい食生活の実践を通じて、食べ物に対する感謝と「もったいない精神」で食べ物を無駄にせず、食品ロス削減の重要性についての理解促進を図ります。

【実施状況】

（健康長寿課）

【次世代の健康づくり副読本「くわっちーさびら」の活用】

○食育に関する副読本「くわっちーさびら」のデジタルブックを広報し、各家庭や地域での閲覧・活用による食育の推進を通じて食品ロス削減についても意識啓発を行った。

【食育推進計画の策定】

○令和5年3月に第4次沖縄県食育推進計画（計画期間：令和5年度～8年度）を策定した。同計画で定めた施策には食品ロス削減に係る取組が含まれており、食育推進と食品ロス削減の双方が連動して取組を展開することとしている。

【その他取組】

○食育月間（6月）に合わせ、食育に関する普及啓発を行った。

県立図書館でのパネル展（6/1-6/27）、沖縄タイムス・琉球新報への新聞広告（6/1）

【施策実施による成果等】

食育の推進を通じ、食品ロス問題の認知向上や生活の各場面における食品ロス削減の実践に寄与した。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	%	-	78				97.5%	80	80以上

【令和5年度活動計画】

○副読本「くわっちーさびら」の普及広報

○第4次沖縄県食育推進計画に掲げた各種施策の推進（市町村における食育計画の策定支援など）

○食育月間等における食育の普及啓発

⑧ 商慣習見直し機運の醸成（食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等）

食品流通段階における商慣習が食品ロス発生の大きな要因となっていることから、県民会議のもとに消費者に対して食品関連事業者が行う、商慣習見直し等を含めた食品ロス削減に資する取組について普及啓発を行い、理解を促進します。

【実施状況】

（流通・加工推進課、ものづくり振興課、消費・暮らし安全課）

○第1回実務者会議（令和4年9月29日）

協議事項：商慣習見直しについて、先進事例の紹介

○第2回実務者会議（令和4年11月4日）

協議事項：食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知、未利用食品の有効活用の推進

○第3回実務者会議（令和5年1月19日）

協議事項：沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度、共同宣言（案）

（流通・加工推進課）

農林水産省による商慣習の見直しに取り組む事業者の募集の周知を行った。

【施策実施による成果等】

事業者の規模や形態による商慣習見直しにかかる考え方や、現状の取り組みの共有、食品ロス削減の新たな取組について各業界団体と意見交換を行うことができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議(仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3				100.0%	3	3

【令和5年度活動計画】

○第1回実務者会議（令和5年7月27日）

報告・協議事項：沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度、令和5年度の取組

○第2回実務者会議（令和5年9月21日）

報告・協議事項：令和4年度の取組状況について、令和5年度の取組、県民会議における年度別取組（案）、食品提供マッチングシステムの構築に向けた取組

○第3回実務者会議（令和5年11月24日）

報告・協議事項：各委員団体の取組報告、令和5年度の取組、県民会議における年度別取組（案）、食品提供マッチングシステムの構築に向けた取組

⑨ もったいない意識の醸成を図るための県独自のロゴマーク等の活用

沖縄県の食品ロス削減の取組の趣旨を表現したロゴマーク等を制定し、食品ロス削減に取り組む企業・団体等に積極的な活用を促し、県民運動としての更なる展開を推進します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

- 10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターを作成し、関係団体に配布し掲示してもらった。また、県立図書館でポスターの展示を行った。
- 食品ロス削減に関わる職員の名刺にロゴマーク及びキャッチフレーズを使用し、広報啓発に活用している。

【施策実施による成果等】

啓発資料を作成する際にロゴマークを活用し、県民への普及に努めた。

【令和5年度活動計画】

- ロゴマークを活用した沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度の啓発グッズを作成する。
- 10月の食品ロス削減月間に県立図書館でロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターの展示を行う。
- 学食・社食等における啓発活動の取組において、ロゴマークを使用した卓上ポップを作成する。また、取組の中でロゴマークの名前募集を行う。
- 消費生活班の職員の名刺にロゴマーク及びキャッチフレーズを使用し、広報啓発に活用する。

⑩ 食品ロス削減月間（10月）等の取組

食品ロス削減月間（10月）、食品ロス削減の日（10月30日）に、食品ロスの削減に対する県民の意識の醸成、社会的な機運を高める取組を実施します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

- 「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施し、職員へ未利用食品等の寄贈を呼びかけ、集められた食品490個（122.3kg）、日用品528個をおきなわこども未来ランチサポートを通して子ども食堂へ提供した。（令和4年10月3日～10月14日）
- 沖縄県立図書館でポスターの展示を行った。（令和4年9月27日～10月3日）

【施策実施による成果等】

ポスターの掲示を行い、県民への普及啓発することができた。
また、フードドライブ活動により未利用食品の有効活用を図った。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
食品ロス削減月間におけるイベントの実施件数	回/年	2	2				50.0%	3	4

【令和5年度活動計画】

- 沖縄県立図書館におけるパネル展示（令和5年10月11日～10月23日）
- 「フード&ライフドライブ in 県庁」の実施
- 卓上ポップを作成し、学食・社食等において啓発を行う。
- ホテル等において利用者を対象にフードドライブを実施する。

⑪ 県広報媒体等を活用した広報活動

各種広報媒体を活用し、県内の食品ロス等の削減に関する先進的な取組事例等について情報発信することで、食品ロス等の削減に関する意識を啓発します。

【実施状況】

（広報課）

食品ロス削減に関する広報実績

1. 広報誌「美ら島沖縄」での食品ロス削減をテーマとした連載の実施（6月～8月）－3件
2. 広報誌「美ら島沖縄」でのSDGs特集（6月号）における「SDGsOKINAWA グランプリ2021」の紹介（受賞作品に食品ロス削減をテーマとした取組有）－1件
3. 広報誌「美ら島沖縄」での「おきなわこども未来ランチサポート」紹介（10月号）－1件
4. 広報テレビ「うまんちゅひろば」での「食育月間」紹介（6月放送）－1件

【施策実施による成果等】

各媒体を活用した広報により食品ロス削減推進にかかる普及啓発や、県内における様々な取組について紹介を行った。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1 (3)	6				120.0%	5	5

【令和5年度活動計画】

今後も同様に取り組む。

各媒体を活用した広報は、原則各課からの依頼により実施しているため、食品ロス削減に取り組む各課においては積極的に依頼いただきたい。

⑫ 観光客等への普及啓発

観光誘客プロモーションや修学旅行誘致を行う際に食品ロス削減の啓発活動を行います。合わせて、観光客やMICE等を受け入れる宿泊施設や観光施設の管理者側に対しても食品ロス削減の取組の協力依頼を呼びかけます。

【実施状況】

(観光振興課、MICE 推進課)

- 沖縄 MICE ネットワークの取組のなかで、「沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン」を作成した。
- サステナビリティガイドラインのなかで、県内 MICE 事業者のフードロス削減における取組事例等を掲載しており、沖縄 MICE ネットワーク会員（222 団体のうち、宿泊業のホテル等は 20 団体加入）に対して、MICE 人材育成講座等において取組事例の紹介及び普及等に努めた。
- フードロスに関する先進的な取組を行っている事業者について、観光情報サイトに掲載を行った。

【施策実施による成果等】

県内 MICE 事業者へフードロス削減等の取組を紹介することで、フードロス削減等への意識が高まっている。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	R8	R13
3010運動を推奨しているホテル数	件	0 (3)	未確定 (調査中)					50	100

【令和5年度活動計画】

- 沖縄 MICE ネットワークにおいて、サステナビリティ部会を立ち上げた。ガイドラインの周知と活用促進、MICE メニューの開発等に取り組む。
- 沖縄 MICE ネットワーク会員向け機関紙で、フードロス削減等の取り組みを行っている団体を紹介し意識づけを行う。
- 今後の誘客プロモーションや誘致活動に併せて、食品ロス削減に係る啓発活動や観光関連事業者への働きかけ等も検討していく。

⑬ 関係団体への普及啓発（関係各課）

食品ロス削減の優良事例について普及啓発を図るなど、各種イベント等で食品ロス削減を推進します。

【実施状況】

表彰制度創設に向け県民会議と連携して検討中であり、表彰式は開催していないため、令和4年度は実施なし。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式での普及啓発回数	回/年	0	0				0%	1	1

【令和5年度の活動計画】

実務者会議及び県民会議において、表彰制度の開始時期等について協議を行う。

(2) 食品関連事業者系食品ロス対策

① 規格外や未利用の農林水産物の活用の促進

生産された農林水産物を無駄にしないよう、出荷されることなく廃棄される農林水産物の削減を図るため、加工等により規格外農林水産物の活用が可能な6次産業化を推進します。

【実施状況】

(流通・加工推進課)

【商品開発個別支援】

○11事業者×各4回実施

県産農林水産物を活用した魅力ある加工品の開発に取り組む人材を育成するため、商品開発、販路開拓等の専門家を派遣し個別指導を実施した。

【人材育成研修】

○商品づくりの課題解決を図るため、農林漁業者等を対象とした6次産業化セミナー（人材育成研修）を計4回実施し、延べ70名が参加した。なお、目標値を累積開催件数で設定しているため、令和4年度の実績欄には前年度までの実績に令和4年度の実績（4回）を加えた累積件数を記載した。

【施策実施による成果等】

規格外や未利用の農林水産物を活用した魅力ある商品の開発を行うことができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
6次産業化セミナーの開催件数	回	3	7				21.2%	18	33

【令和5年度活動計画】

【商品開発個別支援】

○県産農林水産物を活用した魅力ある加工品の開発に取り組む人材を育成するため、10事業者を対象に、商品開発、販路開拓等の専門家を派遣し個別指導を実施する。

【人材育成研修】

○商品づくりの課題解決を図るため、農林漁業者等を対象とした6次産業化セミナー（人材育成研修）を4回実施する。

② 賞味期限の大括り化の促進

賞味期限の年月表示化が可能な商品は、賞味期限表示の大括り化の取組を促進します。

【実施状況】

(衛生業務課)

各保健所を通じ毎年食品関連事業者に対して食品表示法に関する巡回調査・点検、講習会を定期的に開催している。消費期限、賞味期限の年月表示については、当該食品の科学的根拠に基づき、適切に表示するように指導している。大括り化を行う事業者についても、問い合わせ等があれば期限表示について適切に行うよう指導する。

(ものづくり振興課)

○工業技術センターを通じて食品関連事業者からの技術相談に対応しており、消費期限、賞味期限については、科学的根拠に基づいた設定方法のアドバイスを行っている。

○会議の開催件数については、当該推進計画の取組みの中で開催される実務者会議（R4 年度は、9 月、11 月および R5 年 1 月）で関係機関等との意見交換がなされており、目標値は達成されている。

【施策実施による成果等】

(衛生業務課)

食品関連事業者へ、食品表示の賞味期限の設定方法等について巡回調査や講習会を通して指導することによって、賞味期限の大括り化が適切に行われ、食品ロスの低減化に繋がるものと考えられる。

(ものづくり振興課)

事業者の規模や形態による商慣習見直しにかかる考え方や、現状の取組みが共有された。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
賞味期限の年月表示化の可能性について関係機関等との会議の開催件数	回/年	0	3				100.0%	3	3

【令和 5 年度活動計画】

(衛生業務課)

県内 5 カ所（5 回）で開催される食品表示講習会において、賞味期限の大括り化について、適切に行うよう内容を盛り込む。今後も適切な食品表示が行えるように、食品関連事業者へ講習会等を通して周知・指導していく。

(ものづくり振興課)

引き続き、工業技術センターを通じて食品関連事業者からの消費期限、賞味期限に関する技術相談を受ける。

関係機関等との会議については適宜関係課と協力して取り組む。

③ 商慣習見直し取組の促進(食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等)

サプライチェーン全体での食品ロス削減に資する厳しい納品期限(3分の1ルール)の緩和や、需要予測の高度化や受発注リードタイムの調整等による適正発注の推進等の商慣習の見直しの取組を促進します。

【実施状況】

(流通・加工推進課)

農林水産省による商慣習の見直しに取り組む事業者の募集の周知を行った。

(流通・加工推進課、ものづくり振興課、消費・暮らし安全課)

商慣習の見直しに限定せず、各企業で取組の目標設定をした方が効果的であること、消費者へ周知を行い理解を得る必要があるということを踏まえ、2回目以降の実務者会議では新たな取組として、食品ロス削減県民運動パートナー登録制度について協議を行った。

・第1回実務者会議(令和4年9月29日)

協議事項: 商慣習見直しについて、先進事例の紹介

・第2回実務者会議(令和4年11月4日)

協議事項: 食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知

・第3回実務者会議(令和5年1月19日)

協議事項: 沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度、共同宣言(案)

【施策実施による成果等】

(流通・加工推進課)

農林水産省による商慣習の見直しに取り組む事業者の募集の周知を行うことで、気運の醸成を図った。

(流通加工推進課、ものづくり振興課、消費・暮らし安全課)

実務者会議を開催し、食品ロス削減の新たな取組について各業界団体と意見交換を行うことができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議(仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3				100.0%	3	3

【令和5年度活動計画】

○第1回実務者会議(令和5年7月27日)

報告・協議事項: 沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度、令和5年度の取組

○第2回実務者会議(令和5年9月21日)

報告・協議事項: 令和4年度の取組状況について、令和5年度の取組、県民会議における年度別取組(案)、食品提供マッチングシステムの構築に向けた取組

○第3回実務者会議（令和5年11月24日）

報告・協議事項：各委員団体の取組報告、令和5年度の取組、県民会議における年度別取組（案）、食品提供マッチングシステムの構築に向けた取組

④ 外食産業における食べ残し対策等の促進

飲食店等事業者に対し、3010 運動※、「外食時のおいしく『食べきり』ガイド」を周知することにより食べ残しの発生抑制等の取組を促進します。

〔 ※宴会等の最初の30分間と終了前の10分間に食事をしっかり楽しむことで食べ残しを減らす取組。 〕

【実施状況】

（環境整備課）

エコライフ&ネイチャーフェア（環境フェア）（11月12日）においてチラシ配布等を行った。

（消費・暮らし安全課）

令和4年度は実施なし。

【施策実施による成果等】

（環境整備課）

参加者へチラシ配布を行ったことで、周知・啓発が図られた。

【令和5年度活動計画】

（環境整備課）

環境フェア（11月頃予定）においてチラシ配布等を行う。

（消費・暮らし安全課）

パートナー登録制度の周知を行い、取組を促進する。

(3) 表彰制度の創設

① 食品ロス削減に貢献した事業者への表彰制度の創設

食品ロス削減の先進的な取組事例を周知し、県民等に削減取組の重要性が広く認知され、県内における一層の実践を促すため、表彰を実施します。

【実施状況】

(消費・くらし安全課)

表彰制度創設に向け検討中であり、表彰式は開催していないため、令和4年度は実施なし。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式の実施回数	回/年	0	0				0.0%	1	1

【令和5年度活動計画】

実務者会議及び県民会議において、表彰制度の開始時期等について協議を行う。

(4) 実態調査及び調査・研究の推進

① 家庭系食品ロス発生量の調査

家庭系食品ロス発生量を把握するため、適時、実態調査を実施します。

【実施状況】

(環境整備課)

令和4年度においては、糸満市及び石垣市にて下記日程により家庭系食品ロス・食品廃棄物組成調査を実施した。

○糸満市・・・12月20日、1月31日

○石垣市・・・12月23日、2月3日

【施策実施による成果等】

施策実施により、家庭から排出される食品ロス発生量や内訳等を把握したことで、食品ロスが生じる要因の分析や、今後の削減の為の取組検討に資する結果が得られた。また、今回調査を実施した2市の調査結果を県内全体の食品ロス排出量推計に反映させることで推計精度の向上も図られた。

【令和5年度活動計画】

協力市町村と調整の上、委託業務により食品ロス調査を実施する。

② 事業系食品ロス発生量の調査

事業系食品ロス発生量を把握するため、適時、実態調査を実施します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

県内の食品関連事業者（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）を対象に食品ロス量、食品ロス発生原因等に関するアンケート調査を実施した。

【施策実施による成果等】

県内の食品ロスの発生状況について把握することができた。調査結果を基に効果的な取組について検討する。

【令和5年度活動計画】

令和5年度は実施予定なし

（5）情報の収集及び提供

① 先進的な食品ロス削減の取組等の広報活動

本県および全国の先進的な取組や優良事例を協議会やシンポジウム、啓発イベントなどについて、県広報媒体を通じて幅広い世代に向けて情報を提供・発信します。

【実施状況】

（広報課）

食品ロス削減に関する広報実績

1. 広報誌「美ら島沖縄」での食品ロス削減をテーマとした連載の実施（6月～8月）－3件
2. 広報誌「美ら島沖縄」でのSDGs特集（6月号）における「SDGsOKINAWA グランプリ2021」の紹介（受賞作品に食品ロス削減をテーマとした取組有）－1件
3. 広報誌「美ら島沖縄」での「おきなわこども未来ランチサポート」紹介（10月号）－1件
4. 広報テレビ「うまんちゅひろば」での「食育月間」紹介（6月放送）－1件

【施策実施による成果等】

各媒体を活用した広報により食品ロス削減推進にかかる普及啓発や、県内における様々な取組について紹介を行った。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	R8	R13
3010運動を推奨しているホテル数	件	0 (3)	未確定 (調査中)					50	100

【令和5年度活動計画】

今後も同様に取り組む。

各媒体を活用した広報は、原則各課からの依頼により実施しているため、食品ロス削減に取り組む各課においては積極的に依頼いただきたい。

② エシカル消費啓発と連動した取組

エシカル消費の周知を行う中で、食品ロス削減への取組が人・社会・環境に配慮した消費行動であるエシカル消費につながることを消費者に啓発します。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

- エシカル消費啓発ポスターを作成し、食品ロス削減月間に合わせて食品ロス削減啓発ポスターと一緒に関係機関へ配布し掲示を依頼した。（41市町村、沖縄県食品ロス削減推進県民会議委員35団体）
- 食品ロス削減月間における県立図書館での展示の際にエシカル消費啓発ポスターも展示した。

【施策実施による成果等】

エシカル消費の周知を行うとともに、エシカル消費と深い関連のある食品ロスの削減についても啓発を行うことができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
エシカル消費の認知度 (エシカル消費認知度調査における「言葉の内容を含めて知っている」県民の割合)	%	3.3	6.1				24.4%	12.6	25

【令和5年度活動計画】

県立図書館で実施予定の食品ロス削減月間パネル展示で、エシカル消費の啓発資料も展示する。

(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等

① 未利用加工食品等を活用するためにフードバンク活動の取組を支援

未利用加工食品等の活用を推進するため、食品を提供する協力企業等を確保するとともに、支援を必要とする団体等のニーズを把握し、フードバンク活動の取組と連携した持続的な食支援の仕組みの構築を図ります。

また、子ども食堂や福祉施設等に提供するフードバンク活動に関する情報発信を図ります。

【実施状況】

(子ども未来政策課)

○おきなわこども未来ランチサポートを通じて、支援を必要とする団体等からの要望に応じ、食料品の配布を行った。

配布団体数（実数）：83 団体

配布回数（延べ）：2,223 回

○県民会議と連携し、県民会議 HP 及び SNS を活用しおきなわこども未来ランチサポートによる活動の情報発信を行った。

(消費・暮らし安全課)

○フードバンクセカンドハーベスト沖縄やおきなわこども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供するとともに、食品ロスや備蓄食料の啓発用リーフレット（大人用、子ども用2種類）を作成し、配布した。（21,600食）（R4.11月末）

○「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施し、職員へ未利用食品等の寄贈を呼びかけ、集められた食品490個（122.3kg）、日用品528個をおきなわこども未来ランチサポートを通し子ども食堂へ提供した。（令和4年10月3日～10月14日）

【施策実施による成果等】

(子ども未来政策課)

協賛企業等の数は減少しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化等により子どもの居場所からの食料品提供の要望は増加しているが、要望があった子どもの居場所に対しては食料品を提供することができた。

(消費・暮らし安全課)

「フード&ライフドライブ in 県庁」については、継続して実施することによりフードドライブや食品ロスの認知度向上に繋がっている。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
沖縄子どもの未来県民会議が実施する食支援事業に協力する協賛企業等の数	件	50 (58)	56				80.0%	60	70

【令和5年度活動計画】

(子ども未来政策課)

引き続き県民会議 HP 及び SNS を活用した情報発信を行うとともに、令和3年度から令和4年度にかけて協賛企業数が減少していることから、令和5年度は新規協賛企業等の開拓のため人員を増員し協賛企業等の増加を図る。

(消費・暮らし安全課)

- 「フード&ライフドライブ in 県庁」の実施
- 食品提供団体とフードバンク等の受取団体をマッチングさせるシステムの構築を検討中である。

② 生活困窮家庭等への未利用食品の活用の推進

食品関連事業者等から発生する未利用食品等を子ども食堂や福祉施設等に提供するフードバンク活動に関する情報発信を図ります。

【実施状況】

(子ども未来政策課)

- 県広報誌「美ら島沖縄 10月号」及び県政広報番組「うまんちゅひろば」(12/10・11放送)にておきなわ子ども未来ランチサポートの取組を紹介し、広く県民及び企業等への寄贈呼びかけを行った。
- おきなわ子ども未来ランチサポート幹事団体である琉球新報社により、紙面にて定期的の実施状況を掲載し、周知を図った。
- 沖縄子どもの未来県民会議と連携し、県民会議HP及びSNSを活用した情報発信を行った。

(消費・暮らし安全課)

- フードバンクセカンドハーベスト沖縄やおきなわ子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供するとともに、食品ロスや備蓄食料の啓発用リーフレット(大人用、子ども用2種類)を作成し、配布した。(21,600食)(R4.11月末)
- 「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施し、職員へ未利用食品等の寄贈を呼びかけ、集められた食品490個(122.3kg)、日用品528個をおきなわ子ども未来ランチサポートを通し子ども食堂へ提供した。(令和4年10月3日~10月14日)

【施策実施による成果等】

(子ども未来政策課)

広報誌等を見た県民からの問い合わせ等があり、一定数周知を図れている。

(消費・暮らし安全課)

「フード&ライフドライブ in 県庁」については、継続して実施することによりフードドライブや食品ロスの認知度向上に繋がっている。

【令和5年度活動計画】

(子ども未来政策課)

リーフレット等による周知を行うなど、おきなわ子ども未来ランチサポートへの寄贈食品増加に向け周知広報活動に取り組む。

(消費・暮らし安全課)

- 「フード&ライフドライブ in 県庁」の実施
- 食品提供団体とフードバンク等の受取団体をマッチングさせるシステムの構築を検討中である。

③ 災害時用備蓄食料の有効活用

買い替えを迎える災害時用備蓄食料については一定の賞味期限を残した形でフードバンク等に提供し有効活用を図ります。

【実施状況】

(消費・くらし安全課)

- フードバンク・子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ提供し、賞味期限が迫った県の備蓄食料を廃棄することなく有効活用した。
- 離島の小中学校における環境教育に併せて備蓄食料を用いて台風等災害時の防災教育等や食品ロスの教育に活用した。

【提供備蓄食料】

ビスケット 6,600 食
アルファ化米 15,000 食

- 備蓄食料提供の際に、食品ロス削減及び災害備蓄の必要性等を周知するためチラシを配布した。

【施策実施による成果等】

賞味期限を一定期間残した備蓄食料を提供し、廃棄せずに食品ロスを削減することができた。また、備蓄食料をフードバンク等へ提供する際に、食品ロス削減及び災害備蓄の必要性等を周知するリーフレットを配布することにより、県民へ普及啓発をすることができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	0	100				100.0%	100	100

【令和5年度活動計画】

令和5年度は買い替え予定の備蓄食料がないため、実施予定なし。

2. 沖縄県の特性を踏まえた施策展開

(1) 未利用食品の有効活用の推進

① 生活困窮家庭等への未利用食品等の食料支援の仕組みを構築

沖縄子どもの未来県民会議と連携した食料支援の仕組みづくりを構築します。

【実施状況】

(子ども未来政策課)

○ケンタッキー・フライドチキン株式会社と食品提供に関する協定を締結し、未利用食品（チキン）を子ども食堂等へ提供する取り組みを継続して実施した。

令和5年2月時点：4市（那覇市、浦添市、沖縄市、糸満市）、7店舗で週1回子どもの居場所へ食品を提供

【実施状況】

(消費・暮らし安全課)

○フードバンクセカンドハーベスト沖縄やおきなわこども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供するとともに、食品ロスや備蓄食料の啓発用リーフレット（大人用、子ども用2種類）を作成し、配布した。（21,600食）（R4.11月末）

○「フード&ライフドライブ in 県庁」を実施し、職員へ未利用食品等の寄贈を呼びかけ、集められた食品490個（122.3kg）、日用品528個をおきなわこども未来ランチサポートを通し子ども食堂へ提供した。（令和4年10月3日～10月14日）

【施策実施による成果等】

(子ども未来政策課)

企業等から提供される未利用食品を子どもの居場所に提供する仕組みを構築することができている。

(消費・暮らし安全課)

「フード&ライフドライブ in 県庁」については、継続して実施することによりフードドライブや食品ロスの認知度向上に繋がっている。

【令和5年度活動計画】

(子ども未来政策課)

引き続き企業等と連携し継続的な食品提供の仕組みを構築するとともに、市町村等と連携し子どもの居場所の利用数増加に向けて取り組む。

(消費・暮らし安全課)

○「フード&ライフドライブ in 県庁」の実施

○食品提供団体とフードバンク等の受取団体をマッチングさせるシステムの構築を検討中である。

② 県の災害時用備蓄食料の有効活用の推進

災害時用備蓄食料の買い替え時期に合わせて賞味期限が1年に迫った物資（食料）をフードバンク等に提供し有効活用を図ります。

【実施状況】

（消費・くらし安全課）

- フードバンク・子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ提供し、賞味期限が迫った県の備蓄食料を廃棄することなく有効活用した。
- 離島の小中学校における環境教育に併せて備蓄食料を用いて台風等災害時の防災教育等や食品ロスの教育に活用した。

【提供備蓄食料】

ビスケット 6,600食

アルファ化米 15,000食

- 備蓄食料提供の際に、食品ロス削減及び災害備蓄の必要性等を周知するためチラシを配布した。

【施策実施による成果等】

備蓄食料をフードバンク等へ提供する際に、食品ロス削減及び災害備蓄の必要性等を周知するチラシを配布することにより、県民へ普及啓発をすることができた。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成割合	R8	R13
消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	0	100				100.0%	100	100

【令和5年度活動計画】

令和5年度は買い替え予定の備蓄食料がないため、実施予定なし。

(2) 台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進

フードバンク等を活用し子ども食堂や生活困窮家庭等に提供できるような仕組みを構築します。

【実施状況】

(子ども未来政策課)

コープ沖縄から台風等の影響により離島へ輸送ができなくなった生鮮食品等の提供を受け、おきなわ子ども未来ランチサポートを通じて子どもの居場所へ提供を行った。

(消費・暮らし安全課)

食品ロス削減実務者会議で台風等による仕入れが遅れた食品の有効活用の促進等について、検討を行った。

【施策実施による成果等】

(子ども未来政策課)

未利用食品を子どもの居場所へ提供することで有効活用することができた。また、日頃寄付を受け入れることが難しい生鮮食品等を居場所へ提供することができた。

(消費・暮らし安全課)

実務者会議や実際に提供している事業者ヒアリングすることで仕組みづくりを進めた。

【令和5年度活動計画】

(子ども未来政策課)

引き続き提供いただける企業等と連携を図るとともに、これまで提供先がわからず廃棄していた企業等と連携し、スムーズに提供できる仕組みを構築する。

(消費・暮らし安全課)

食品提供団体とフードバンク等の受取団体をマッチングさせるシステムの構築を検討中であり、台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の仕組みも併せて検討する。

(3) 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組

観光誘客プロモーションや修学旅行誘致を行う際に食品ロス削減の啓発活動を行います。合わせて、観光客やMICE等を受け入れる宿泊施設や観光施設等の管理者側に対しても食品ロス削減の取組の推進を呼びかけます。

【実施状況】（観光振興課、MICE 推進課）

- 沖縄 MICE ネットワークの取組のなかで、「沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイドライン」を作成した。
- サステナビリティガイドラインのなかで、県内 MICE 事業者のフードロス削減における取組事例等を掲載しており、沖縄 MICE ネットワーク会員（222 団体のうち、宿泊業のホテル等は 20 団体加入）に対して、MICE 人材育成講座等において取組事例の紹介及び普及等に努めた。
- フードロスに関する先進的な取組を行っている事業者について、観光情報サイトに掲載を行った。

【施策実施による成果等】

県内 MICE 事業者へフードロス削減等の取組を紹介することで、フードロス削減等への意識が高まっている。

数値目標	単位	現況値	実績					中間年	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	R8	R13
3010運動を推奨しているホテル数	件	0 (3)	未確定 (調査中)					50	100

【令和5年度活動計画】

- 沖縄 MICE ネットワークにおいて、サステナビリティ部会を立ち上げた。ガイドラインの周知と活用促進、MICE メニューの開発等に取り組む。
- 沖縄 MICE ネットワーク会員向け機関紙で、フードロス削減等の取り組みを行っている団体を紹介し意識づけを行う。
- 今後の誘客プロモーションや誘致活動に併せて、食品ロス削減に係る啓発活動や観光関連事業者への働きかけ等も検討していく。

食品ロス減らして
増やそう ゆいまーる



沖縄県食品ロス削減県民運動ロゴマーク

くわっちいー
さびたん!

ありがとう

